

試験区分：電気 <<教室系>>

- Q. 仕事内容を教えてください。
- A. 学生実験での技術指導、実験装置の修理、改良、有害物質を扱う施設への立ち入り調査による安全衛生管理をおこなっています。その他、小学生高学年向け理科教室の企画・立案や、地域の科学イベントへの参加という仕事もあります。
- Q. 研究者との違いは何ですか。
- A. 研究者は、研究テーマがあり、それに基づく業務（研究）をおこないますが、技術職員は、基本的に教育・研究業務のサポート業務をおこないます。
- Q. 取得しておいたほうがよい資格や知識はありますか。
- A. 法人化以降、法律により作業環境測定業務があるため、作業環境測定士があれば非常に役に立ちます。また、労働安全衛生法の適用下に置かれるため、衛生管理者免許も役に立ちます。
- Q. 二次試験の内容はどのようなものでしたか。
- A. 個人面談で、学生時代の専門分野について、問答がありました。
- Q. どのような人材が求められていると思いますか。
- A. 教員と学生の間立ち業務を行うので、協調性が重要視されます。また、同一業務を行う者が少数であり、1人で業務に当たることが多く、On The Job Trainingが基本となるため、自己研鑽を積極的にできる人が求められると思います。
- Q. 研修制度について教えてください。
- A. 専門性を高めるためや資格取得（作業環境測定士、衛生管理者免許など）の外部機関の研修、資格取得の研修のほか、海外大学における技術職員の現状把握のための海外研修がおこなわれています。
- Q. 人事異動はどのようになっていますか。
- A. 本学の工学部においては、技術職員が25人と比較的多いため、技術部が組織されています。その中で、技術専門職員（係長相当）、技術専門員（専門員相当）、総括技術長（課長補佐相当）と昇進があります。工学部以外への人事異動はありません。
- Q. 他機関との人事交流はありますか。
- A. 過去に他機関との人事交流の実績はありません。